

教材教科研究会

— 授業力の向上をめざして —

研修支援部

1 はじめに

教材教科研究会を年に2回実施するようになって5年目になる。当校は5部署に分かれており、各部署とも1つの教科に対して複数の教員が担当することはほとんどない。同じ教科の教員同士で相談できる場所は限られ、各々で試行錯誤を繰り返さなければならない。

「他の部署では、どんな授業をしているのか」「もっと良い教材はないか」といった要望に応えるためにこの研究会が設定された。各教科における実践事例や教材の紹介、ICT機器の活用、外部講習の伝達等により、子どもの実態に応じた授業力の向上をめざすことを目的としている。

今年度は、この教材教科研究会を利用して、教材の紹介や困りごとの相談等が行われた。本稿では、今年度の教材教科研究会の取組みについて報告する。

2 概要

	第1回	第2回
前回からの改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・時間は75分であるが、早めに終わっても良いことを周知 ・教科の順番について公平性を保つ ・アンケートは各教科で実施し、次回へ引き継ぐ(全体に関する意見のみ研修支援部で検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間は65分であるが、早めに終わっても良いことを周知 ・場所について、1グループに1つの場所を割り当てる ・メンバー表を作成する
日時	<ul style="list-style-type: none"> ・7月22日(火) 2部制各75分 第1部 13:20~14:35 第2部 14:45~16:00 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月25日(木) 1部制各65分 第1部 10:00~11:05 第2部 11:10~12:15
参加	<ul style="list-style-type: none"> ・担当学部及び教科への参加が基本 ・他のグループへの参加も可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当学部及び教科への参加が基本 ・他のグループへの参加も可能
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教科チーフを中心に各教科で決める(内容の締切り日は設定しない) ・参考として昨年度までの内容例を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科チーフを中心に各教科で決める(内容の締切り日は設定しない) ・参考として昨年度までの内容例を提示

II 校内研修

3 教材教科研究会で話し合われた内容

	第 1 回	第 2 回
小 学 部	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の紹介と共有 ・困りごと相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の紹介と共有 ・困りごと相談
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・院内という環境制限、入院期間の制限、学習進度や病状の差異がある中での授業実践の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内という環境制限、入院期間の制限、学習進度や病状の差異がある中での授業実践の交流
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・自作教材、指導法などの資料の作成や教材交流、貿易ゲームの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の判じ絵で教材研究
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・「単元の導入」について各自教材発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分教室の現状報告 府立学校インターミディエイトセミナー（2～4年次研修）研究授業、研究協議会の報告 ・第107回全国算数・数学教育研究（石川）大会の参加報告
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の授業で活用している自作教材の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程研修の伝達研修、教材の交流
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の指導方法、困りごとの相談、ICT機器の活用法 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト対策、教材紹介、困りごと、Web音楽会について
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもたちの讃歌展」に向けて各々の授業で取り組んだ1学期の作品・教材の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の「子どもたちの讃歌展」について検討
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の授業内容と今後の展開について 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の振り返り、3学期の予定
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・分教室でできる家庭科の内容と教材の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・分教室での効果的な技術家庭科教材の研究
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語が苦手（嫌い）な生徒でも取り組める教材や活動に関する情報やアドバイス等 	<ul style="list-style-type: none"> ・T-NETでのオンラインすごろくの実践 ～報告～ ・枚方市教育委員会主催の授業力向上研修の伝達 ・中学生の授業で使える英語の歌
養護教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・養護診断（保健室での対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ・からだところの大切さを伝える保健指導実践

II 校内研修

4 アンケート集計結果と分析

昨年度より各教科でアンケートを実施することになった。項目は2つで、研究会の内容に関することと全体に関する意見である。全体に関する意見が出た場合、その項目のみ研修支援部で検討することとしている。

第1回の研究会では、「自分の知らない教材を知ることができた」「他分教室や他学部の実践を知ることができた」など、教材の情報共有と交流の場として高く評価する意見が多く見られた。

実際に使用している教材を見たり触れたりしながら紹介を受けることで、授業での活用イメージが具体的に持てたという声が多く、「二学期から取り入れたい」「自分の授業で活用したい」といった前向きな意見が多く寄せられている。

また、少人数のグループに分かれて行ったことで、「話しやすい」「落ち着いて相談できた」「じっくり話し合えた」といった声が多く、教材や指導上の悩みを共有し合える安心感のある場となっていたことがうかがえる。

部署や分教室を越えて交流できたことや、子ども目線の教材の工夫に触れられたことも、実践のヒントとして有意義であったと評価されている。

一方で、「事前に内容を知らせてほしい」「学期初めに案内があると準備しやすい」といった意見もあり、今後の運営に向けた改善点として示唆された。

第2回の研究会においても、「とても良かった」「有意義だった」とする回答がほぼ全員を占め、満足度の非常に高い研修であった。

すぐに使える教材や指導法の紹介、他の先生の実践や工夫を詳しく聞いたこと、少人数でのグループトークにより悩み相談や深い話し合いができたことが特に高く評価されている。

また、国語や算数など教科の枠を越えた交流ができたことや、「困った時に相談できる場になっている」「来年度も続けてほしい」といった声から、本研究会が日常の実践を支える場として定着しつつあることがうかがえる。

全体の雰囲気や運営に対しても、「参加しやすい」「準備・運営への感謝」といった肯定的な意見が多く、改善要望は「話を聞く時間がもう少しほしい」など少数にとどまった。

5 まとめ

両回を通して、教材教科研究会は「具体的な教材アイデアの獲得」と「悩みの共有・相談」の両面において、参加者の満足度が高い研修の場となっていた。

特に、少人数で実践をじっくり共有できる形式や、教科や部署を越えた交流が、参加しやすく実践に直結する学びを生んでいる。

今後は、共有資料の整備や時間配分の工夫を行いながら、この実践交流の場を継続していくことで、さらに効果的な研究会につながると考えられる。